

報道関係各位

令和7年（2025）8月28日

猪名川町役場企画財政課広報担当

令和6年度一般会計決算見込みについて

【概要】

令和6年度の猪名川町一般会計の決算見込みは、歳入で123億4,504万円、歳出で120億9,895万8千円となり、前年度と比較して、歳入は1.3%減少、歳出は1.4%増加しました。

歳入決算額から歳出決算額を差し引いた歳入歳出差引額は2億4,608万2千円、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は1億8,638万6千円となりました。

【令和6年度一般会計決算収支の状況】

(単位：千円)

区 分	決 算 額
歳入総額（A）	12,345,040
歳出総額（B）	12,098,958
歳入歳出差引（C = A - B）	246,082
翌年度に繰り越すべき財源（D）	59,696
実質収支（C - D）	186,386

【歳入の概要】

町税は、定額減税の影響により前年度から 1.1%減少しましたが、減税補填として国から交付される地方特例交付金は 536.1%増加しました。

国庫支出金は、新型コロナワクチンの集団接種事業が終了したことによる国庫補助金の減少などから 15.3%減少し、県支出金についても、治山事業やため池改修事業の減少などにより 4.8%減少しました。

また、繰越金が 64.7%増加し、基金の取り崩しを抑制したため、繰入金は 30.4%減少しました。

【歳出の概要（目的別）】

民生費は、住民税非課税世帯等に対する給付金や介護保険、後期高齢者医療保険特別会計への繰出金が増加したことなどにより 6.7%、土木費は、橋りょう長寿命化事業費が増加したことなどにより 14.1%それぞれ前年度から増加しました。

一方、衛生費は、新型コロナウイルスワクチン接種に係る事業規模が縮小したことなどにより前年度から 21.5%減少しました。

【歳出の概要（性質別）】

人件費は、人事院勧告に基づく給料表の引き上げ改定や会計年度任用職員の処遇改善（勤勉手当の支給等）などにより前年度から 10.0%と大幅に増加しました。

扶助費は、定額減税補足給付金、障害福祉サービスの増加などから 5.0%の増

加、公債費は、地方債の借換えに伴う一括償還や令和 3・4 年度に借り入れた消防債の元金償還の開始などにより 1.5%増加しました。

投資的経費は、消防本部・消防北出張所の施設改修事業や文化体育館の大・小ホールの吊天井落下防止対策事業を実施したものの、大規模な普通建設事業が前年度より減少したことなどから 40.5%減少しました。

【その他】

- ・ 地方債残高は 76 億 5,105 万 3 千円で、前年度から 5 億 1,346 万 8 千円減少。
- ・ 基金残高は 39 億 4,643 万 6 千円で、前年度から 1 億 2,866 万 2 千円増加。
- ・ 経常収支比率は、人件費（会計年度任用職員に係るものを除く）が増加しているものの、普通交付税や各種交付金など一般財源も増加しているため、前年度から 0.9%減少し、88.2%となりました。
- ・ 実質公債費比率は、単年度の比率は上がったものの、3 ヶ年平均の比率は、前年度と同率の 2.8%となりました。一般会計等が将来負担すべき実質的な負債額と比べ、充当できる基金等の財源が多いことから、将来負担比率は発生しない状況となっています。

【問合せ】

企画総務部企画財政課 担当肥爪^{ひづめ}（TEL 0 7 2 - 7 6 6 - 8 7 1 1）